

施設内での新型コロナウイルス感染症 発生時の初動について —感染対策—

大阪市保健所感染症対策課
集団疫学調査班
令和6年3月更新

日々更新しましょう！

感染対策

～感染状況の整理～



職員間で情報を
共有しましょう

感染状況で確認すべき項目①

今までの**累計**
の数

▶検査の実施状況（入居者累計）

（累計）

入居者	総数	陽性者	陰性者	未検査	結果待ち	死亡者
2階	110	63	44	0	3	0
3階	109	56	51	0	2	0
4階	107	77	28	0	2	0
入居者 合計	326	196	123	0	7	0

感染状況で確認すべき項目②

現在施設内で療養している陽性者

➤入居者の現状

(○月△日現在)

入居者	総数	陽性者	濃厚接触者	療養終了者	濃厚接触者ではない入居者
2階	110	49	44	14	3
3階	109	33	51	23	2
4階	107	62	28	15	2
入居者 合計	326	144	123	52	7

感染対策

～標準予防策～

標準予防策について

すべての人に対して、血液、体液、汗を除く分泌物、排泄物等は、感染の可能性があるとみなして対応する

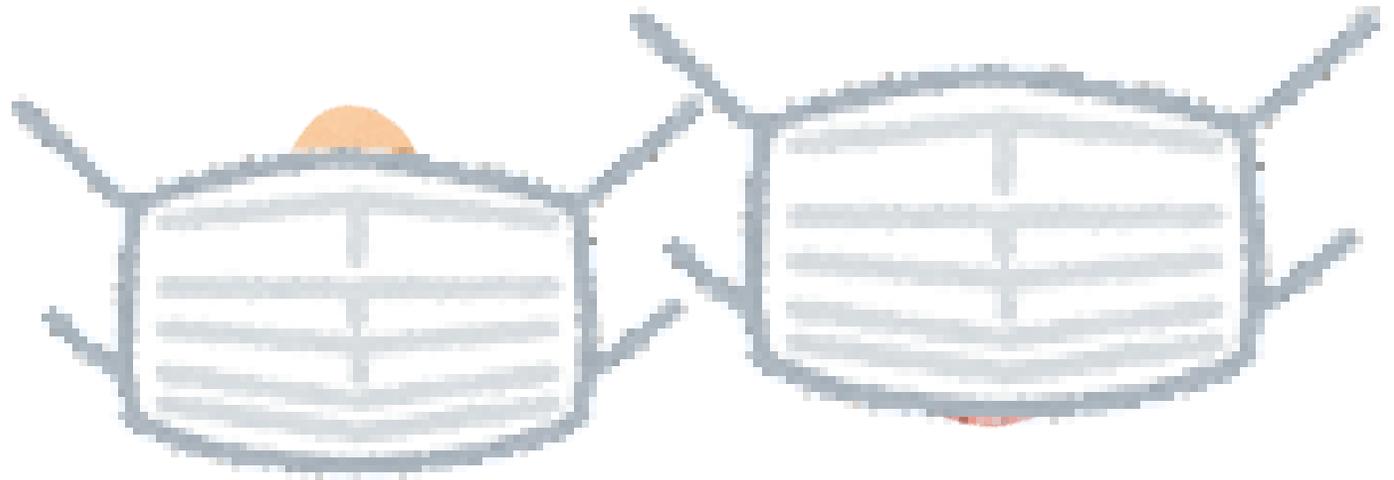
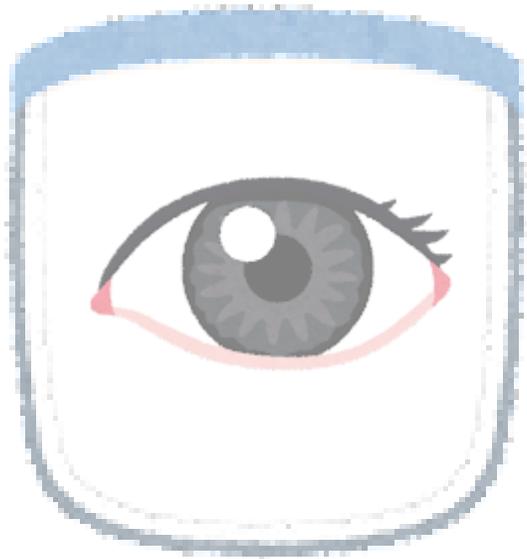
対応する際は、

- ・手袋をする
- ・必要に応じてマスクやゴーグルをつける
- ・手袋を外した後は手洗いを丁寧に行う

感染症予防の基本！

新型コロナウイルスの侵入経路

新型コロナウイルスが侵入するのは・・・



個人防護具について

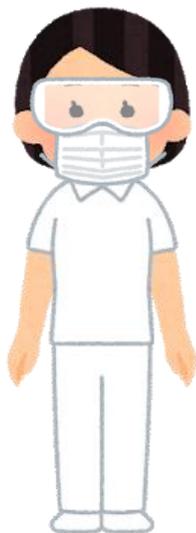
新型コロナウイルス感染症
の方が出ていないときから
着用しましょう！



マスクが着用できない入居者への普段の介助時から
口と鼻を守る **マスク**、目を守る **フェイスシールド（ゴーグル）** を着用しましょう！

個人防護具について

- 個人防護具は現場の職員が働く上での生命線！
- 各ケアにおいて適切な個人防護具の選択をしましょう！



基本スタイル～レッドゾーン内～

- 陽性者、濃厚接触者、症状のある者との直接の接触がない
(例) 配膳・配薬

レッドゾーンへ入る時は
サージカルマスク※、フェイスシールド（ゴーグル）
必要時手袋の着用が必要

※レッドゾーンでは、N95マスクの使用が望ましい



入居者との接触がある～レッドゾーン内～

- 陽性者、濃厚接触者、症状のある方との直接の接触がある
（例）おむつ交換、シーツ交換、清拭、陰部洗浄、
体位変換、食事介助、器具の洗浄、消毒

サージカルマスク※、フェイスシールド（ゴーグル）、
ガウン、手袋、キャップの着用が必要

※レッドゾーンでは、N95マスクの使用が望ましい



入居者との接触がある～レッドゾーン内～

- 陽性者、濃厚接触者、症状のある方のエアロゾル（*1）が発生する介助を行う
（例）歯磨き介助、痰吸引、むせが多い方への食事介助

N95マスク、フェイスシールド（ゴーグル）、ガウン手袋、キャップの着用が必要

（*1）エアロゾル：人が咳、くしゃみ、会話、呼吸などの際に、鼻や口から空中に放出する粒子。数分から数時間にわたって空中を浮遊することもある。



個人防護具の交換のタイミング

新型コロナウイルス
を拡げないため

- 複数名の濃厚接触者の介助をする時

濃厚接触者毎に、手袋とガウンを交換しましょう

- 複数名の陽性者の介助をする時

ガウンの上に、エプロンを着用する

陽性者毎に手袋は交換しましょう

エプロンは、汚れた場合には交換しましょう



感染対策

～ゾーニング～

職員間でゾーニングの目的・方法を確認しましょう

レッドゾーン 職員が個人防護具を着用した上で従事するエリア

- ①陽性者がいるエリア
- ②濃厚接触者がいるエリア
- ③症状がある入居者がいるエリア
- ④個人防護具を脱ぐエリア

この3つは分ける
ことが望ましい

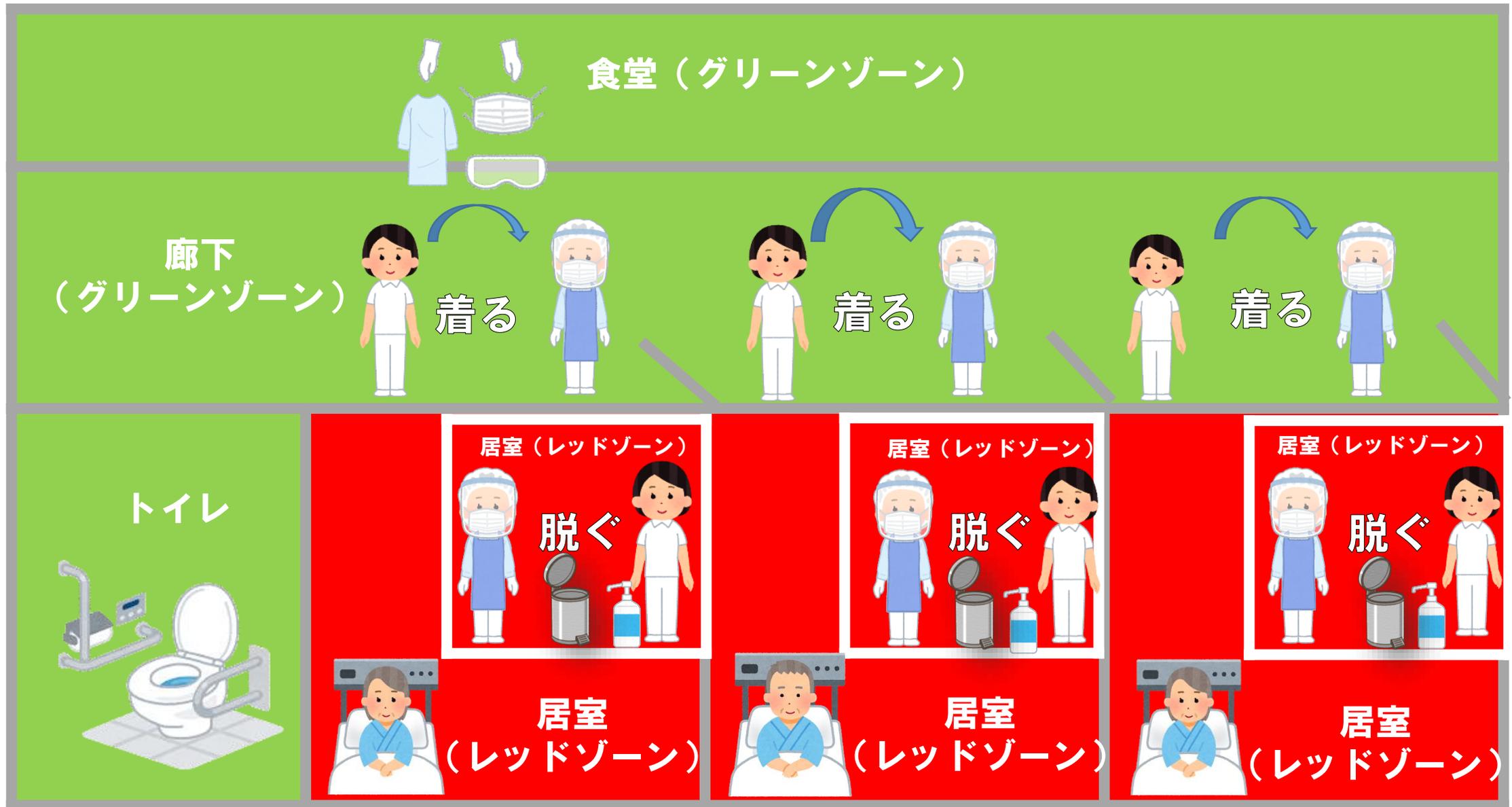
グリーンゾーン 職員が個人防護具なしで過ごせるエリア

- ・ 職員の休憩場所
- ・ 個人防護具を着用するエリア

ゾーニング

- 初動時のゾーニングは、陽性者だけに対して厳密に行うのではなく、**濃厚接触者も含めて行う**
- はじめの時期はゾーニングを厳密に決めることよりも、標準予防策（手洗い・手指消毒とサージカルマスク着用）に徹してもらうことの方が重要

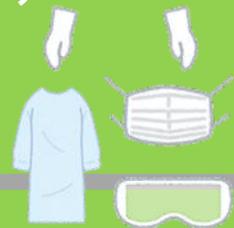
複数名の陽性者が発生した場合（居室内にとどまることが可能な場合） **パターン1**



複数名の陽性者が発生した場合

(居室内に留まることができない場合：エリアごとレッドゾーンにしたケース)

食堂 (グリーンゾーン)



廊下 (グリーンゾーン)



居室

居室

居室

居室

居室

居室

廊下 (レッドゾーン)



廊下 (レッドゾーン)

休憩室

居室

トイレ

居室

物置

居室

居室

陽性者専用
トイレ

居室

居室

ゾーニングのポイント

- 可能な限りシンプルに！
- 着衣はグリーンゾーン内、脱衣はレッドゾーン内
- 詰所や休憩室はなるべく個人防護具を着ないで過ごせる安全で安心な場にする
- 施設の中でも限局的な発生か、広範・点在的な発生かによって、ゾーニングの方針も変わってくることを考慮する

休憩室・食堂・更衣室・喫煙室の利用方法

- 時差式休憩で少人数にする
- 仮眠室では肌が触れるようなリネンは可能な限り使用ごとに交換する
- 床を素手でさわらない
 - ▶ 簡単に拭けるような机・椅子を導入する
 - ▶ 床は病原性微生物が多いため、床に触れるリスクを減らす
- 靴の脱ぎ履きを減らす
 - ▶ 汚染面に近い靴の脱ぎ履きはウイルスに接触するリスクが高くなる
- 食堂での密をさける
- 更衣室内でのマスクを外しての会話を控える
- 喫煙方法のルール決定

職員の動線分離

職員の分類

1. 陽性者や濃厚接触者のいる階に従事する職員
2. 陽性者や濃厚接触者のいる階に従事しない職員



- 分類の違う職員が可能な限り交差しない工夫が、被害範囲を広げないために非常に重要！
- 動線を完全に分離するのが困難な施設でも、休憩場所などは分離することが必要。

必ず分離が必要なもの

- 休憩室
- 食堂
- 更衣室
- 喫煙所

可能な限り分離が必要なもの

- 出入り口
- トイレ
- 階段・エレベーター